

名古屋造形大学 活動報告

【学生・教員・大学の活躍等】

2023 年10月～現在

（補足）以下の活動に関しては別冊「年報2023」に掲載されておりますので、そちらも合わせてご覧ください。

- ・造形芸術研究センター（ギャラリー関係）
- ・社会交流センター
- ・国際交流センター
- ・その他の学外活動（一部）

足立ゆうじ教授が江戸川乱歩賞作家 新野剛志氏 の新連載小説「粒と棘」の挿絵を担当しています

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝教員の活躍



足立ゆうじ教授が、令和5年10月12日(木)発売の『紙魚の手帖』 Vol.13にて
始まった、第45回江戸川乱歩賞作家 新野剛志氏の新連載小説「粒と棘」の
挿絵を担当しております。

戦後すぐの東京を舞台に繰り広げられる市井の人々が活写されています。

『紙魚の手帖』は隔月刊誌です。

足立ゆうじ プロフィール：1975年 愛知県生まれ

1999年 名古屋造形芸術大学（現名古屋造形大学）卒業

小説新潮2023年5月号より直木賞作家、川越宗一氏「満腔の熱血」の挿絵を担当。小説新潮にて日本ファン
タジーノベル大賞受賞作、武石勝義著「夢現の神獣 未だ醒めず」、西村京太郎著「近鉄特急殺人事件」、文
藝春秋にて村上龍著「オールド・テロリスト」、週刊文春にて内田康夫著「神苦楽島」挿絵担当。湊かなえ
著「サファイア」『ランティエ』、稲田将人著「経営参謀」『ダイヤモンド社』、篠田節子著「竜と流木」
『新潟日報、静岡新聞』、「COFFE LOVER'sキャンペーン」『UCC』などのイラストレーションを担当。

地域建築領域の伊藤維 准教授の作品が グッドデザイン賞を受賞しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝教員の活躍



Strawberry Shed / Fields 岐阜のいちご作業所・直売所・遊び場 / 2022

住宅地と農地の混在する地域に建つ、いちご農家の作業場・直売所・遊び場をつくる6次化農業拠点の計画。限られた工事費で、建材に施主が持つ廃棄予定のビニルハウスのパイプ材、製材所からの端材、コンクリート工場のデッドストックブロック材など、産業や地域の余剰材を転用再構成し、可能な限り自主施工で建設した。

伊藤維 プロフィール：1985年岐阜県生まれ

2008年 東京大学工学部建築学科卒業

2008年 藤村龍至建築設計事務所

2008-13年 シーラカンズK&H

2016年 ハーバード大学デザイン大学院建築学部 修士課程(M.Arch II) 修了

2017年 コロンビア大学建築大学院 (GSAPP) 特任助教

2017-20年 スイス連邦工科大学チューリッヒ校 助手

2020年 シンガポール工科デザイン大学 特任助教

現在 合同会社伊藤維建築設計事務所 代表

大学院 伊藤維ゼミが池袋駅東口グリーン大通りのストリートファニチャーの補修計画・色彩デザイン・着脱式屋台「Street Kiosk」の設計を担当しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝修士課程



伊藤維 准教授が2021年に設計に携わり、大学院 伊藤維ゼミ（建築デザイン）が補修計画・色彩デザイン・着脱式屋台「Street Kiosk」の設計を2023年10月まで担当したストリートファニチャーが、池袋駅東口すぐのグリーン大通りで活用されています。

これはIKEBUKURO LIVING LOOP「まちなかりビングのある日常」というまちづくりの一環です。10月から始まったStreet Kioskの取り組み、また11月3日(金)～5日(日)に行われたスペシャルマーケットなど、街の日常の風景の一部として活用されています。

担当学生：大澤李花、Xiaodan Zhang

濱田樹里教授 絵画展が中日新聞に掲載されました！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝教員の活躍

星見 (第3種郵便物認可)

横16mを超える超大作などを出展した浜田さん＝名古屋市千種区池下町2の古川美術館で



鮮烈な赤 力強く厚塗り

名古屋造形大教授 浜田さん絵画展

日本画家で名古屋造形大教授の浜田樹里さんの大作を集めた特別展「昇華の天地」(中日新聞社後援)が、名古屋市千種区池下町2の古川美術館で開かれている。パネル7枚をつないだ横16・8mの超大作などが目を引く。12月17日まで。

会場には、浜田さんのシンボルカラーともいえる鮮烈な赤の色彩が踊る。熱帯の花々やエネルギーに満ちた宇宙空間を思わせる半抽象的な画面を、岩絵の具を力強いストロークで厚塗りして構成する。

「地・天・球」(縦2m、横16・8m)は花の形をした燃える太陽と月を表し、そのはざまに「生命の根源を問う」人の口を描く。同サイズの「起源の詩」は、画面を地平線のように真ん中で割り、地中から羽を押し上げられるように植物のような形を描き、生命の誕生を暗喩した。びよる状のパネル2組をつらな「臨界の大地」なども含め、10点を展示した。

浜田さんは小学校高学年までインドネシアで暮らし、県立芸術大、同大学院で日本画を専攻。2012年に東山魁夷記念日経日本画大賞に選ばれ、13年には県芸術文化選奨文化新人賞を受賞した。現在は名古屋市在住。濃密な空気に包まれ、壮大な力を感じる南国での生活経験が創作の原点と話す。月曜休み。入館料は分館の為三郎記念館と共通で大人千円、高校・大学生500円。美術館のみは800円。(小島哲男)

2023年11月10日中日新聞朝刊15面 掲載承諾番号20231113-30082

◆古川美術館 特別展

濱田樹里 日本画展

昇華の天地

会期：2023年10月21日～12月17日

濱田樹里 プロフィール：

1973年インドネシア生まれ

1997年愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻卒業
(大学買上賞・桑原賞)

1999年同大学院美術研究科修了(大学買上賞)



2023
10.21[土]
12.17[日]

「観覧時間」
10:00～17:00
「休館日」
月曜日 休館日16:30まで

主催 公益財団法人 古川美術館
後援 愛知県、愛知県教育委員会、
名古屋市教育委員会、中日新聞社、
日本経済新聞社、(財)三栄、名古屋市立大学、
スター・キャナル・グループ、三井物産株式会社
協力 株式会社豊田三井建設株式会社、(財)三井物産

出品作家(昇華の天地)：(中略)2023年
出品：濱田樹里

名古屋市内の公共交通機関から徒歩5分

多岐三井グループ・一日乗車券 大人1,000円～800円
24時間券を利用して
ご来場の方は、入館料割引！
中学生以下無料

林スプリング製作所×名古屋造形大学の産学連携事業 が中部経済新聞に掲載されました！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝空間作法領域



株式会社林スプリング製作所様との産学連携事業が中部経済新聞に取り上げられました＜
2023年12月14日掲載＞

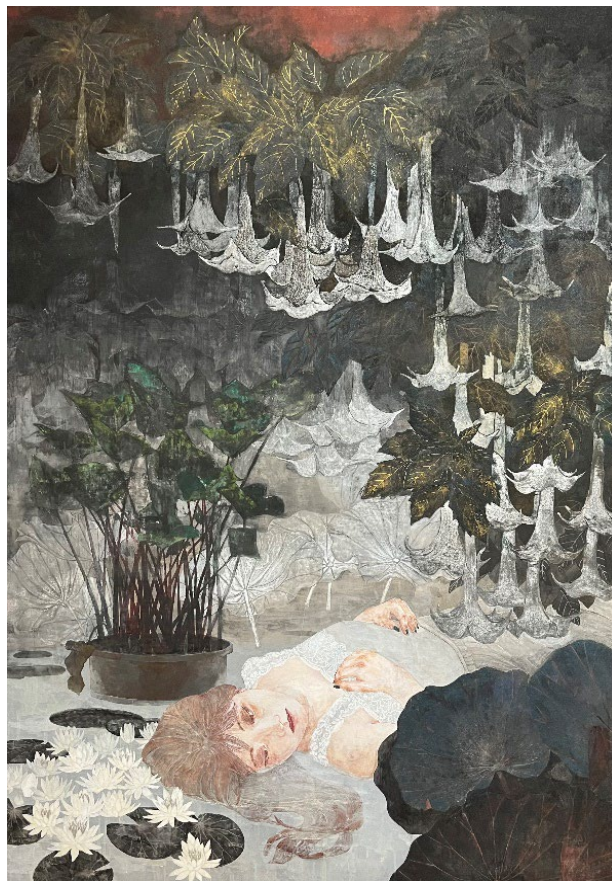
この事業は、林スプリング製作所様より製品製造時に生じた平鋼端材の活用方法について相談を受け、端材を活用したワインスタンドのデザイン制作をテーマに、空間作法領域の学生たちが取り組んだプロジェクトです。8月～9月の夏休期間を利用して行い、中間プレゼン、最終プレゼンと回数を重ね、先日学内で表彰式が行われました。

表彰式では、林スプリング製作所様のご厚意で、学生たちが提案したデザインを実際に廃材から制作して頂きました！試行錯誤して制作したデザインが形となり、とても喜んでいました。

美術表現領域3年 西岡詩奈さんが『第23回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展』の「日本画の部」に入選！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝美術表現領域



入選作品「たゆたう」

美術表現領域 濱田スタジオ3年 西岡詩奈さんが『第23回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展』の「日本画の部」に入選しました。展覧会は1～3月にかけて、福知山、横浜、東京、京都、名古屋と巡回しました。

佐藤太清賞公募美術展とは

佐藤太清画伯（1918年～2004年）は、京都府福知山市に生まれ、幼き頃から絵の道を志し日本画の研鑽に努め、平成4年には文化勲章を受章されました。現代日本画壇の重鎮として後進の育成にも心を注がれ、現在第一線で活躍する多くの日本画家を送り出されてきました。福知山市は、その功績を讃え、その志を受け継ぐため、21世紀の芸術文化を担う人材の育成を目的として、高校生・大学生を中心に全国から絵画作品の一般公募を行っています。

名古屋三越 × 名古屋造形大学

～プロジェクションマッピングや映像を使った体験型アート～

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝情報表現領域



映像で遊ぶクリスマス

12 / 23・24
(土) (日)

名古屋三越 × 名古屋造形大学

情報表現領域 外山貴彦教授とインターフェースデザインゼミの学生による
映像作品を名古屋栄三越の屋上で上映しました。

【日時】 12月23日(土)・24日(日) 各日午後5時～午後6時30分

【場所】 名古屋栄三越 8階 屋上

小牧高校100周年記念イベントの1つである インタラクティブアートに協力しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝情報表現領域



愛知県立小牧高校100周年記念「創立100周年のPRイベント」の一環として、「こまきこども未来館」に小牧高校の生徒たちが作った映像を組み込んだ仕組を提供しました（すでに終了しています）。

本件は、小牧高校様からの相談により実現したもので、10月に高校生に大学までお越しいただき、インターフェースデザインゼミの学生と教員で映像制作のレクチャーをし、高校生たちがこの日のために制作した映像を、こまきこども未来館で見られるように準備しました。

小牧高校100周年おめでとうございます！

「ジャイアントフラワー プロジェクションマッピング」にて学生作品が上映されています

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝情報表現領域



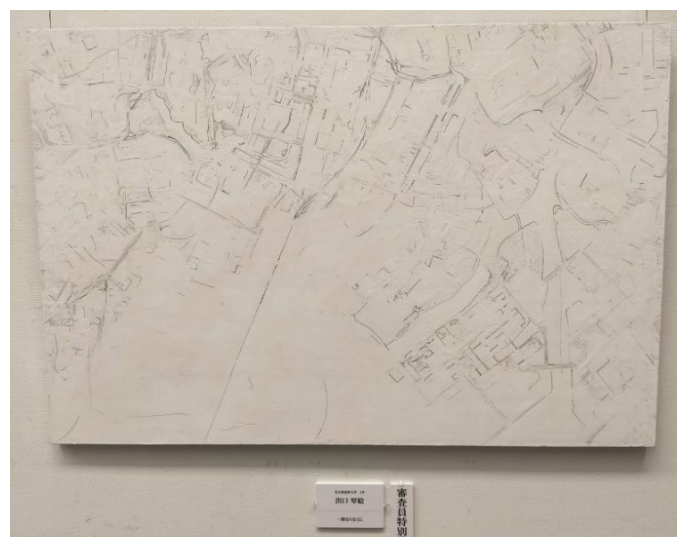
ミッドランドスクエア 屋外展望台にて、「ジャイアントフラワー プロジェクションマッピング」が開催されました。「ジャイアントフラワー」には、プロの作品に加え、公募で選ばれた地元名古屋の学生が「夢」をテーマに創作した作品が投影されました。地上約220mからの景観・フラワーオブジェ・映像が織りなす、幻想的なプロジェクションマッピングです。

開催に先立ち、愛知県内の大学・専門学校の学生によるコンペが開催されました。その結果、情報表現領域4年の森隆斗さん「煌々たる行方」が優秀賞、また同領域4年の速水怜偉太さん「夜空」、2年の安藤希倫さん、高田麻菜美さん、名古屋音楽大学 作曲・音楽クリエーションコース2年の長谷川将秀さんの共同作品「夢幻」が入賞し、上映されました。

「第18回 CBC翔け！二十歳の記憶展2023」にて美術表現領域の学生が受賞しています！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝美術表現領域



濱田スタジオ 3年 阿部桃子さんが準グランプリ(松坂屋美術画廊賞) 左上

佐藤スタジオ 4年 出口琴絵さんが審査員特別賞を受賞 右下

次代の芸術を担う学生を発掘・応援することを目的とし、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学の3大学および大学院から選抜された絵画、立体作品を審査し各賞を決定、表彰します。

「日本地域情報コンテンツ大賞」にて 「あゆち手帖」が最優秀賞を受賞！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝情報表現領域



全国各地の地域密着型メディアを審査し評価の高い媒体を選定して表彰するイベント「日本地域情報コンテンツ大賞」にて、ソーシャル・クリエーションゼミ(江津ゼミ) 澤琨さん、廣瀬 結さん、高橋 勇次さん、梅田 和果さん、佐伯 吉望さん、武藤 由芽さんが編集・発行する「あゆち手帖」がMIE(Magazine In Education)部門最優秀賞を受賞しました！

名古屋造形大学ソーシャル・クリエーションゼミの3年生6名が「愛知県の懐かしさを感じさせてくれるもの」をテーマに編集・発行を行っています。「あゆち」の名称は、むかし名古屋市南区から熱田区あたりにあった入り海「あゆちがた」に由来し「あいち」は「あゆち」が転じた地名だと言われています。愛知県の「今昔を知って、感じる」がこの本のコンセプトです。第2号の特集は喫茶店、常滑焼、名古屋駅。同世代の若い世代をターゲットに周辺地域の歴史や文化を魅力的に発信しており、本学および市内各所で配付中です。

「ゼミ展2024 デザインの学び方を知る」に 蜂屋スタジオが出展しています

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝地域社会圏領域（地域建築領域）



地域社会圏領域 蜂屋景二スタジオ

担当教員：蜂屋景二、小笹 泉、葛島隆之

課題：建築をつくることで地域の文脈をつくる



コインパーキングやコンビニのような都市の低未利用地について、周囲のまちや人々の活動をリサーチした上で建築をつくり、地域の新しい文脈をつくることに取り組んでいます。ここでは地域のためのアールスペース、まちの駅機能を持つ集合住宅を提案。

東京ミッドタウン・デザインハブ

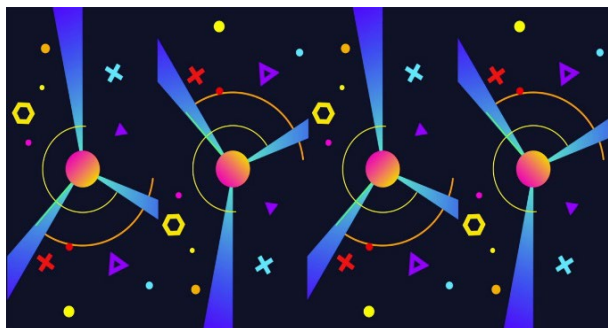
第106回企画展「ゼミ展2024 デザインの学び方を知る」

開催概要：いま、デザインは社会をより良くするための手段としてさまざまな領域で求められ、全国の教育機関で工夫を凝らした学びが行われています。社会の中でどのようなデザインやデザイナーが必要とされているのか、学生たちがそれらにどう向き合っているのか、本展ではデザイン教育の一端を授業で取り組まれている課題と作品を通してご紹介します。課題への着眼点、リサーチから提案まで、デザインを専門とする9校10ゼミならではのアプローチやアイデアにぜひご注目ください。

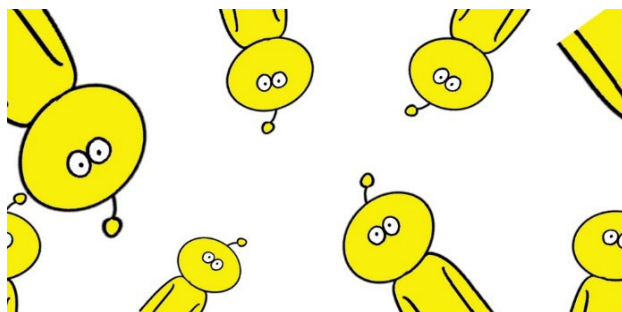
サカエチカ「大同特殊鋼 フェニックス スクエア」にて学生の映像が上映されました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

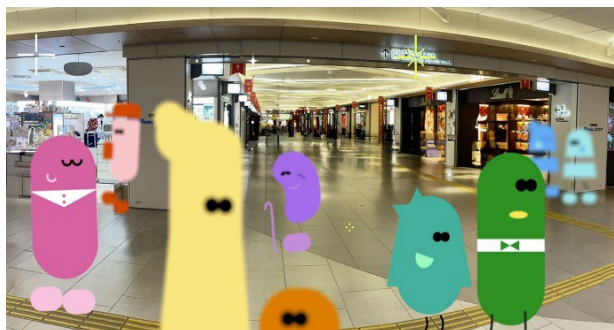
○分類＝情報表現領域



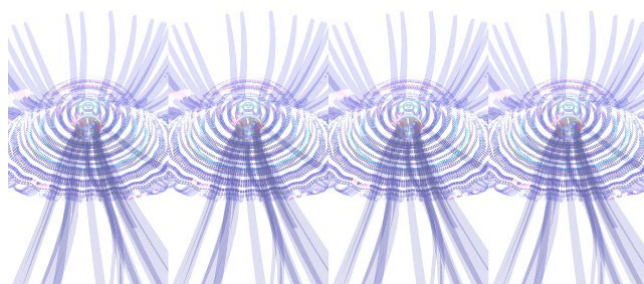
Meteor:夢の軌跡／長江紗愛



あなたと輝く未来／稲垣迅



わいわい、栄／三戸タ季



ユメ／安藤昂宏

名古屋市・栄の地下街 サカエチカの中心部にある「大同特殊鋼 フェニックス スクエア」のデジタルサイネージを使った映像作品発表「LED.」に今年も参加しました。今回はコンテスト形式となり、各大学から4作品の応募ができ、優秀作品などが選ばれました。情報表現領域1年生の授業課題として36名が取組、学内投票で4名の作品を出展しました。その結果、3名が受賞し、2月20日、主催のサカエチカマチ株式会社にて授賞式が行われ、表彰いただきました。

<優秀賞> 稲垣 迅さん「あなたと輝く未来」

<特別賞> 三戸タ季さん「わいわい、栄」

安藤昂宏さん「ユメ」

【作品放映期間】 2024年1月11日(木) ～ 2月2日(金)



空間作法領域2年山崎 文也さんデザインのスツールが デザインコンテストで奨励賞を受賞！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝空間作法領域



カヌレスツール

カヌレのような丸くかわいらしいフォルム
のスツール。積層材の断面を前面に出
し、素材の良さと特徴を味わうことのでき
るデザインにしました。14枚の板によっ
て構成されており、すべての板を10度ずつ
傾けています。それによって座面はより
座りやすくなり、スツールが少し浮いたよ
うな印象を与え、重さを感じさせないよ
うな見た目にすることができました。

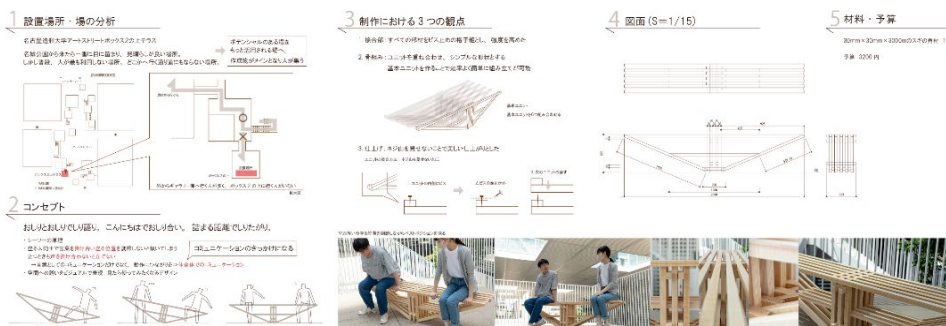
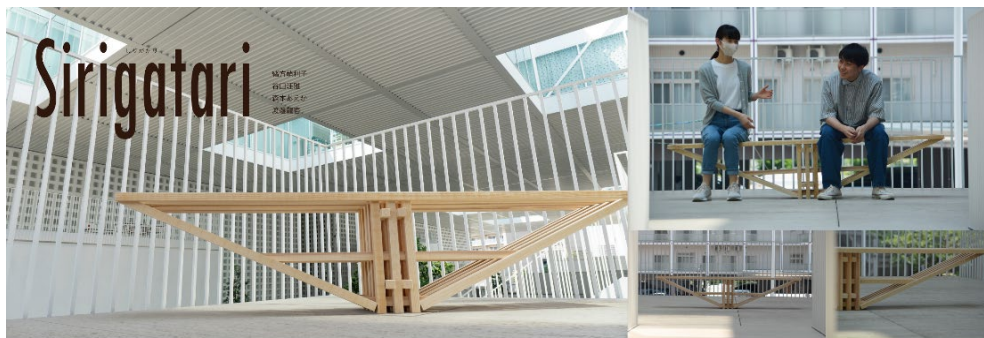
デザインコンテスト「もくチャレ」とは東京都が運営する国産木材の魅力発信拠点「MOCTION」が開催する“学生に知ってほしい日本の森林・林業・木材利用の今”をテーマにした学生向けコンテストです。

第1回目はCAD・Adobe Illustratorを使用した家具デザインコンテスト（イメージボード選考）を行いました。入選作品は実作品を「WOODコレクション2024」展示会（東京ビッグサイト）にて展示されたほか、MOCTIONショールーム（新宿パークタワー）にて展示されました。

空間作法領域2年生の作品がNAF「小空間コンテスト2024」にてダブル受賞しました！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝空間作法領域



空間作法領域2年生の学生たちの作品が、NAF(NAGOYA Archi Fes)2024「小空間コンテスト2024」にて、優秀賞とSPACE賞を同時受賞しました！

受賞作品 “Sirigatari”

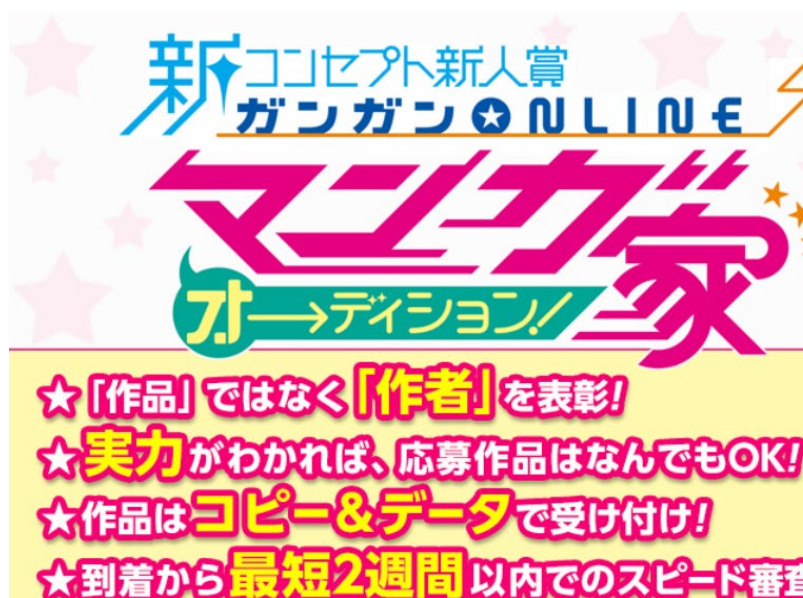
空間作法領域2年 緒方萌利子(代表)、渡邊龍壺、森本あえか、谷口旺雅



3年中垣智賀さんガンガン新コンセプト新人賞 「漫画家オーディション！」期待賞受賞！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝映像文学領域（視覚表現領域）



石川スタジオ3年生中垣智賀さんの「痴女には痴女のプライドがある」という作品がガンガンオンライン(スクエア・エニックス)の新コンセプト新人賞漫画家オーディションにおいて期待賞に入賞しました。

ネームでも応募できるこの賞で中垣さんはネームで入賞しました。
中垣さんのこれからの活躍に注目です！

脱北者一家を追ったドキュメンタリー映画“Beyond Utopia”のアニメーションパートを岩崎宏俊准教授が担当しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝教員の活躍



脱北者一家を追ったドキュメンタリー映画“Beyond Utopia”のアニメーションパートを本学 映像文学領域の岩崎宏俊准教授が担当しました。本作品はサンダンス映画祭2023で観客賞を受賞。本年度英国アカデミー映画賞のドキュメンタリー部門にノミネートされています。邦題『ビヨンド・ユートピア 脱北』で1月12日から全国公開されました。

公式サイト：<https://transformer.co.jp/m/beyondutopia/>

岩崎宏俊 プロフィール：1981年茨城県生まれ

2019年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現領域博士後期課程を修了、博士(美術)

ロトスコープを用いたアニメーション作品を中心にこれまで多数の展覧会や映画祭に参加するなど美術と映画の領域を越境して作品発表を行う他、コミッションワークも多数手がけ、THE ONE SHOW、NYADCなどでも賞を受賞。また、2022年より新千歳空港国際アニメーション映画祭のプログラミングチームの一員としても活動している。

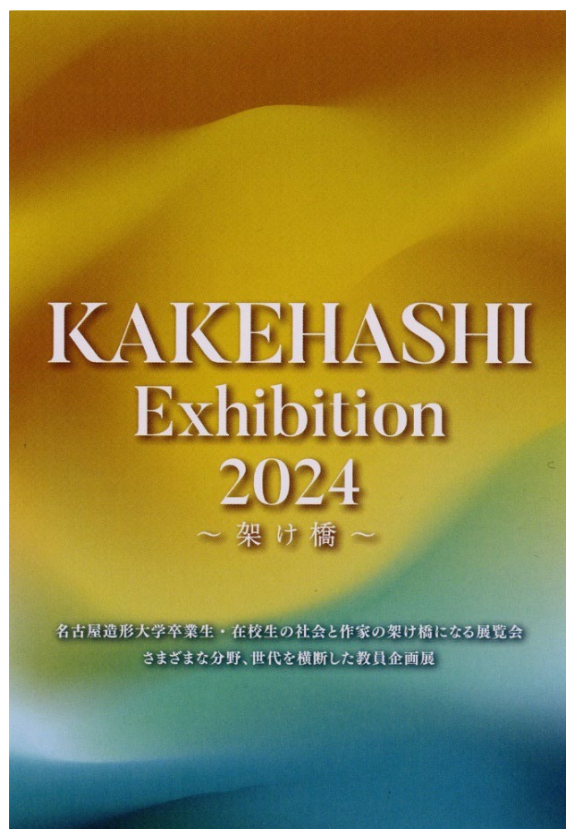
名古屋三越にて41名が参加しKAKEHASHI Exhibition 2024～架け橋～を開催しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝イベント

第4回目となるこの展覧会は日本画・洋画・現代アート・イラストレーション・コミックイラスト・プロダクト分野の卒業生・在校生が、アーティストとして芸術の魅力をさまざまな世代へ向け発信する展覧会です。社会とアーティストが繋がり【架け橋】となることを目指します。教員、卒業生と在校生を合わせると約41名の作家がそれぞれの分野の架け橋となり、個性あふれる作品を展示いたします。今後も名古屋造形大学での学びの歴史を重ね、これからの芸術として未来への架け橋ともなり得る展覧会にしていきたいと思えます。

企画代表 濱田樹里



【会場】名古屋栄三越 7階 美術画廊

【出品作家】

<教員> 濱田樹里 足立ゆうじ 三輪布巳子 Yui Kawano／河野由依 阿部 一雅 植田 浩
梶野靖代 天野華恵 <日本画> 櫻井 優英 柴田紗奈 鈴木葉留香 宮越陽花 日生／鈴木晴
菜 村元瞭介 甲斐 みもり CHEN XIAOCHANG CHU SHURAN SHANG XUE YANG
XIAOJIA 畔上 あすか 東 陸飛 阿部桃子 家田彩花 伊藤 瑠華 上野育海 掛川綾香 鎌田雷
賀 小林雅 西岡詩奈 長谷川晴南 松浦匡起 <洋画> KAI／三島開 北川慧 田中香里
西川恵 吉積 惟代 <イラスト> 塩谷 真代 佐藤里帆 KAZUKI YANO／矢野一喜 松井あや
か／中島あやか <プロダクト> ずーま／西尾和真

「僕らのポートフォリオ展2024」地域社会圏領域 2年近藤海璃さんが今年度の代表を務めています

○掲載元 = 名古屋造形大学 Webサイト

○分類 = 地域建築領域（地域建築領域）



「僕らのポートフォリオ展」通称「僕ポ」は今年で12年目となる、東海地区を中心としたデザイン・クリエイティブ系の学生のポートフォリオ（作品集）を集めた学生有志の展覧会です。

2024年の運営スタッフは10名で、代表の近藤さんが中日新聞で紹介されました。

美術表現領域の学生が西区のコメダ珈琲店にて 展覧会を開催しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝美術表現領域



喫茶店で開催された、この少し変わった展覧会は、学生が絵を描くこと、考えごとができる場所をもとめて、コメダ珈琲店に立ち寄ったところ、お店とのつながりを持てたことがきっかけとなっています。コメダ珈琲店は、地域の交流の場でもあり、落ち着く憩いの場です。出展作品には、作家それぞれの日常的な経験を、表現の一つとして取り入れました。

■「まちあわせはここで」会場：コメダ珈琲店 上名古屋店

作家：赤間向日葵・鈴木はな・星光・松島央汰 企画：瀧琴音・中居真紀

本学学生がキャラクターデザインを担当した 犬山商 工会議所「木曾川 桃太郎外伝」が始動！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝映像文学領域（視覚表現領域）



コミックイラスト分野の学生(現在は卒業)が在学中にキャラクターデザインを担当した、犬山商工会議所のストーリー「木曾川 桃太郎外伝」が始動しています。愛知県犬山市に伝わる「桃太郎伝説」を基に、地域を盛り上げ活性化するため「桃ちゃん」を筆頭に仲間たちが活躍します。また、「木曾川 桃太郎外伝」公式X(旧Twitter)(ももちゃん@木曾川 桃太郎外伝)も三輪スタジオ(コミックイラスト分野)の在学生たちが運営しています。



●「木曾川 桃太郎外伝」ストーリー

主人公「桃ちゃん」は、実は女の子で、鬼が村の女の子を連れ去ってしまうためおじいさんとおばあさんが男の子として育てました。大きくなった桃ちゃんはその後、いぬ、さる、きじを連れて鬼たちを成敗。改心した鬼たちも仲間になり、栗栖地区を盛り上げるために活動しています。

六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト2024にて2名の学生が入選しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝情報表現領域・映像文学領域（視覚表現領域）

ソックス 前田颯希



靴下の二枚一組という性質を人間の恋人という関係に見立てて描いた。左右同じ色、形じゃないといけないとか、男と女じゃないと恋愛できないとかそういう世間的なものに囚われたくない！

Every__Body 福澤 花凜



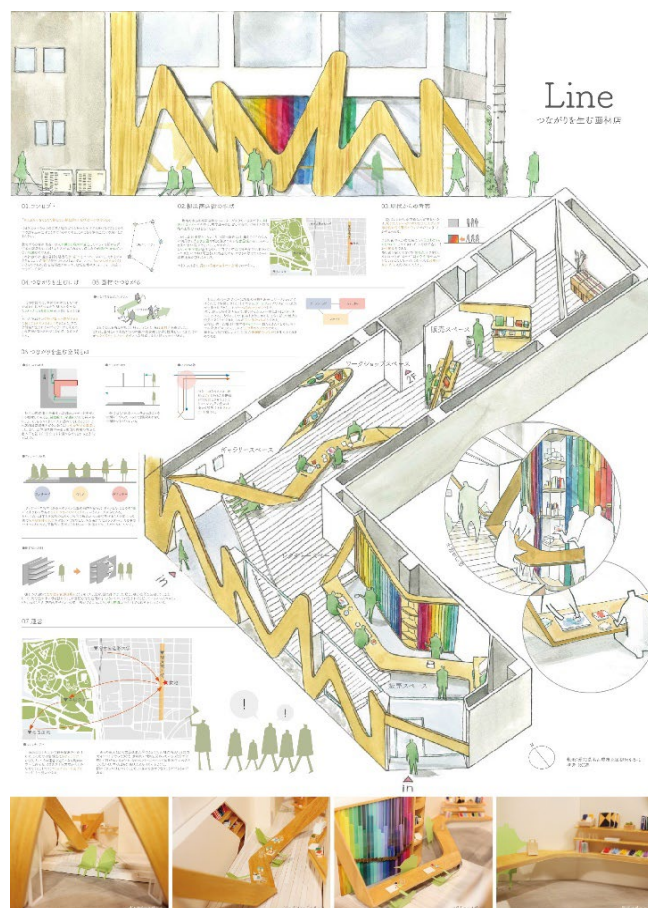
体型の多様性を表現しました。ショーウィンドウに並ぶトルソーと違い、我々は手足の長さも腰の位置も胴の厚さも千差万別です。もし誰の体も同じ形であったなら、everybodyはなんと表現されたのでしょうか。

トップデザイナーが審査委員を務める「六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト2024」において情報表現領域2年の前田颯希さんと映像文学領域4年の福澤花凜さんが入選しました！プロジェクト科目「デザインコンペにチャレンジB」（担当：津田純人准教授）の中で本コンテストに参加し、入選となりました。実際に、3月末より街路灯バナーフラッグとして六本木の道路に掲出されます。

空間作法領域3年の牧 奈亜美さんが2つのコンペで受賞しました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝空間作法領域



●第21回主張する「mise」学生デザインコンペ 奨励賞

『かさね 一堀川の川べり計画』

名古屋市中心部を流れる堀川の川辺の商業施設の提案です。かつて木材の一大集散地として栄えた堀川の魅力を新しく創造し、周辺地域に観光客を招き入れることでまちが賑わいを取り戻すことを目的としています。

●第3回中部商空間賞学生部門 銀賞

『Line つながりを生む画材店』

大学近くの柳原通商店街の空き店舗に、つながりを生む画材店の提案です。点（魅力的な場所）と点が線になり、線（プログラム）と線が形（地域コミュニティ）となることをコンセプトに、商店街に行く目的となるような画材店をつくり、そこで行われるワークショップやギャラリーの展示によって、訪れる人同士のつながりを生みます。

柳原通商店街まちおこしイベントに協力し、NHK東海のニュースで紹介されました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝地域連携



「柳原サムライ忍者隊 名古屋城大脱出！
お殿様護衛体験の巻」

このイベントは、江戸時代に名古屋城が
攻められた際に城主を護衛し、無事に脱出
させる任務を与えられていた「御土居下御側組同心」に
ちなんでおり、親子連れが多数参加し、手裏剣訓練、忍かご体験、
兵糧丸体験、お殿様の護衛などの体験をしました。

チラシポスター作成＝情報表現領域 江津スタジオ／田島楓さん・矢野光咲さん（2年生）

キャラクターデザイン＝情報表現領域 足立スタジオ／2年生全員で取組（採用は大野紋加さん）

「忍かご体験」のかご制作＝空間作法領域 鈴木スタジオ

プロモーションビデオ制作＝映像文学領域 津田スタジオ

映像文学領域 石川スタジオ 2年こ原さん 小学館「ヤングスペリオール新人賞」努力賞入賞！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝映像文学領域（視覚表現領域）

奨励賞
賞金5万円
『炎い転じて』
ふくだ | 21歳

奨励賞
賞金5万円
『My dear ルリコ』
千山侑子

奨励賞
賞金5万円
『笑みと、呪いと。』
木陰ひな田

努力賞
賞金1万円
『PANII MAN』
戸真 | 30歳

努力賞
賞金1万円
『キクリヒメ』
木村匠一 | 22歳

努力賞
賞金1万円
『リコとクロ』
柿原ゆうき | 32歳

努力賞
賞金1万円
『アイラブユーとしてくれ』
こ原 | 19歳

第10回ヤングスペリオール新人賞は大賞1本、審査員賞1本、佳作3本、奨励賞3本、努力賞4本と優秀な作品が数多く集まりました。ご応募頂きました皆様ありがとうございます。

小雨日和さん「Drop ～屋下のホライゾン～」は、人間ドラマの強さとそれを読者に確実に伝える描写力など多方面で才能を感じられる作品で総合力で抜きんでており、大賞受賞となりました。おめでとうございます。

今回の投稿作の中で個人的に一番キャラクターが魅力的だったのが、審査員賞の目黒ノイさん「玉」でした。悪態、毒舌…決して好印象とは言えない主人公ですが、逆にそれが彼女のなさや本音に繋がっていました。さらにその先にそんなキャラへの悲哀も感じられて強く印象に残り、「ここにしかない」キャラクターになっていました。

漫画のキャラクターは好かれるのが一番いいが、そうでないなら嫌われるのでもいい。一番悪いのは、好きでも嫌いでもない（どうでもいい）キャラだと言われます。「嫌い」は執着という意味では「好き」と紙一重だとも思います。アンチファンもファンのうちです。このキャラクターだけにこだわる必要はありませんが、大切に頂ければと思います。

今号では第9回の新人賞に応募頂いた西塔しゅんけさんの読切「シェアボディー」を掲載しています(295ページ)。この新人賞から本誌連載へも観望されていますし、スperlオールは新しい才能にさらに誌面を開いていきたいと思っています。第11回もすでに募集中です。皆様のご応募を心よりお待ちしております。(編集長・寺澤)

編集長 総評

映像文学領域 石川スタジオ2年生で4月から3年になる「こ原さん（ペンネーム）」の「アイラブユーとしてくれ」という作品が小学館代10回ヤングスペリオール新人賞において努力賞に入賞しています！

マンガを描き始めたこ原さん、幸先の良いスタートです。

こ原さんの今後の活躍が楽しみです！

映像文学領域の学生が大杉まちづくり会と連携した取り組みが、中日新聞に取材されました！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝映像文学領域（視覚表現領域）

まちの魅力ギュッ「今昔地図」制作 名古屋造形大生ら、大杉学区住民と連携

2024年3月26日 05時05分 (3月26日 10時59分更新)



名古屋造形大（名古屋市北区名城2）の学生らが、同区の大杉学区の住民でつくる「大杉まちづくり会」と連携し、約半年をかけて学区の魅力を詰め込んだ地図を制作した。「住み続けたいまちづくり」を目指す会が区役所を通じて学生たちを紹介され、実現した。（古畑克真）

「大杉学区界限（かいわい）今昔地図」と名付け、名鉄瀬戸線沿いの桜並木や現存する神社仏閣などに加え、学区に残る歴史書や言い伝えに登場する建造物、文化などのイラストを書き込んだ。学区内の妖怪伝説にちなんだかっぱや鬼、てんぐなどもちりばめた。裏面には、地図上の神社や旧跡などの説明を載せた。...

「大杉学区界限今昔地図」を制作しました！



大杉学区には古くからの寺社仏閣があり、様々な歴史に富んでいるということで「妖怪伝説」をテーマに、マップとロゴマークを制作してほしい、とご相談を頂き、今回のプロジェクトがスタートしました。学生達は実際に大杉学区を歩いて、試行錯誤しながら制作・完成しました。

マップには妖怪出現スポットや妖怪伝説が記載され、実際にまちを散策しながら見るとより楽しめる内容となっています。また、子どもたちと仲睦まじく過ごす妖怪のイラストがちりばめられ、子どもでも親しみを持てるよう工夫が凝らされています。折りたたんだ裏面には、学生が制作したロゴが入り、今後もまちのシンボルとして活用されとのことでした。今回制作したマップは学区内の小中学校や北区役所にて配布されるとのことでしたので、見かけた際は是非お手に取ってご覧ください！

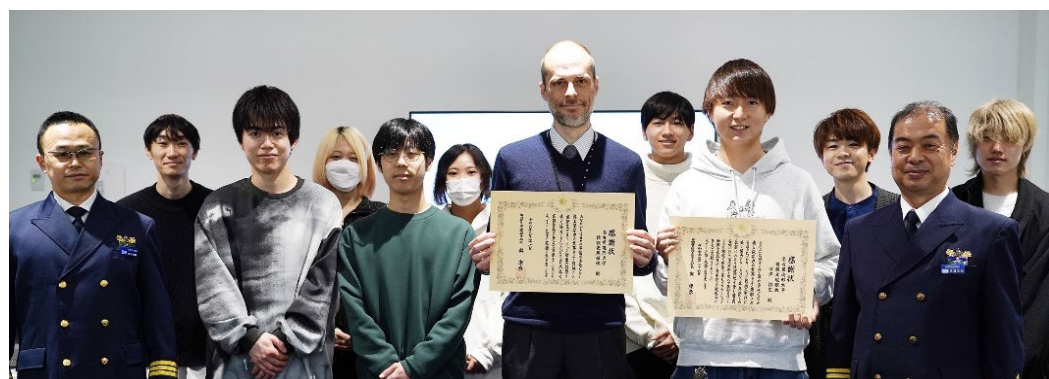
「第四管区海上保安庁のプロモーション映像制作」への協力で海上保安庁から感謝状をいただきました

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝情報表現領域



Youtube QRコード



3月26日に第四管区海上保安庁本部長より、プロモーション映像製作の監督を務めた深津裕己さん、情報表現領域に感謝状が贈られました。

インターフェイスデザインゼミでは、海上保安庁の仕事・魅力、私たちの生活を守ってくださっている隊員の皆様をより多くの方に知ってもらえたらという想いで、産学連携プロジェクトとしてプロモーション映像の制作に取り組みました。約半年間、海上保安庁の隊員の方々が活動されている場所へ出向いて撮影しました。普段はなかなか入れない現場での撮影、海上保安庁の仕事を知る機会となり、ゼミとしても貴重な体験となりました。

海の安全を守ると言っても、実は多様な仕事があることを撮影することで知りました。防犯・警備・救難はもちろん、海の交通や水質調査、海図の更新、海底調査など多くの隊員の皆様によって支えられていて、それに伴う船やヘリの操作、専門機器類の操作、武器の扱い、そして厳しい訓練、そのどれもが重要で、現場で働く隊員の方々の勇姿がこの映像でみなさんに伝わればと思います。Youtubeでも公開されていますので、ぜひご覧ください。

愛知県と障害者芸術文化活動の推進に関する協定を締結！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝協定の締結



2024年3月28日（木）、本学と愛知県、愛知県立芸術大学及び名古屋芸術大学との間で、「あいちアール・ブリュット」の取組を更に推進していくために障害者芸術文化活動の推進に関する協定を締結、協定締結式を開催しました。※あいちアール・ブリュットとは愛知県内の障害のある方の芸術・文化活動を通じて、障害のある方の社会参加を促進し、それにより社会全体の障害への理解が深まることで、障害の有無をこえた交流が広がることを目指す活動です。

名古屋市発達障がい啓発プロジェクト原画展を開催！

○掲載元＝名古屋市Webサイト

○分類＝名古屋市との連携



本学は2023年に「発達障がいの特徴を活かす」取組を推進する名古屋市と連携協定を結び、2024年4月12日よりメインギャラリーにてアールブリュット原画展の開催に協力いたしました。

ぐっさん家～The Good Sun House～の撮影 が入りました

○掲載元 = ぐっさん家のWebサイト (<https://www.tokai-tv.com/gussan/>)

○分類 = ロケーション撮影



04/13放送

ぐっさん！ 地下鉄名城線の上を歩く旅！名古屋城駅から 名城公園駅へ

今回のぐっさん家はシリーズ企画！名城線の上を歩く旅！
前回のゴール地点・名古屋城駅から名城公園駅までの約1.1kmを満喫します。

名古屋城駅から歩き出したぐっさん。
まず訪れたのは、名古屋城の東側に飲食店が並ぶ、観光客に人気のスポットへ！
ショーケースに目をとめたぐっさんが注文したのは、
はみ出るほど肉厚なベーコンが魅力的なハンバーガー。
食べ応えのある美味しさに、ぐっさん大満足です！！

続いて、ぐっさんが発見したのはスポーツバイクの専門店。
本格的なスポーツバイクの数々に、ぐっさん大興奮！！
その他にもランニングショップなど、名城公園の近くならではのお店が登場。



中日ビル開業記念スタンプラリーのノベルティを情報表現領域の学生が制作しました！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝情報表現領域



新たにグランドオープンする中日ビルとの産学連携プロジェクトとして、開業記念イベントでのスタンプ・台紙・ノベルティトートバッグを情報表現領域の学生が制作しました。

中日ビルの「SAKAeL MARCHE」と「全国物産観光センター」にて、スタンプを5個集めた方に、ノベルティトートバッグをプレゼントする企画です。スタンプは「全国物産観光センター」にちなみ15道県をテーマにしたオリジナルスタンプで、チームに分かれて制作し、そこからデザイン案が採用されました。トートバッグは学生個人でデザインを考え、そこから選出されました。実際にキャンパス内の工房でトートバッグへのシルクスクリーン印刷も行い、苦戦しながらも楽しんで制作できました。

3月29日には中日ビルにて表彰式が行われ、当日は中日新聞の取材も入っていました。また4月23日～5月6日に開催されたスタンプラリーにてお披露目されました。

メナード美術館 所属企画展「歳時記 風薫る夏」 美術表現領域 濱田樹里教授の作品が展示中です

○掲載元＝メナード美術館より

○分類＝教員の活躍

開催中！



歳時記とは、季節の年中行事や自然を記し、俳句の季語を解説、分類した書物のこと。古来より四季に親しんできた日本人々は、四季折々の自然の姿を掛軸、屏風、工芸などに描きとめ、季節の装いとして室内を飾りました。「歳時記」と題した本展は、一年間に季節にあわせた全三回の展覧会を開催し、コレクションが見せる季節の情景、移ろいを、歳時記をめくるようにお楽しみいただけます。

第二回「歳時記 風薫る夏」では、さまざまな夏の姿を日本画、日本洋画、工芸作品約60点からご覧いただけます。「風薫る」とは夏の季語の一つで、新緑の季節に若葉の中を爽やかな初夏の風が吹き渡るさまを指します。本展では瑞々しい新緑を思わせる工芸をはじめとして、暑さの中咲き誇る花、山の青々とした万緑の風景や、水辺の涼やかな空気など、さまざまな夏を感じさせる作品を集めました。徐々に暑さが増し移ろいゆく季節の情景をどうぞご覧ください。

会期：2024年4月13日（土）～7月7日（日）

【一部展示替があります】

前期展示 4/13 - 5/26

後期展示 5/28 - 7/7

夏旺さかん

夏の季語「夏旺ん」は「梅雨明け以降の夏の真盛り」のこと。初夏や梅雨を過ぎ、本格的な暑さが到来した夏の頃に特徴的な、自然の中の濃く豊かな色彩、日差しのまぶしさ。この章では、新緑の木漏れ日がきらめく吉田善彦《奥入瀬新緑》に始まり、山の深い緑色を捉えた田淵俊夫《明日香栢森》、明るい夏の日差しと勢いよく流れる川を描いた児島善三郎《溪流》、

常夏の国・インドネシアの大地を源泉とする濱田樹里《花潮》など、夏が見せるさまざまな鮮やかさを感じられる作品を中心に紹介します。



濱田樹里《花潮》 2018

岡崎子ども美術館にて「あそび展」を開催中です！

○掲載元＝名古屋造形大学 Webサイト

○分類＝教員の活躍

開催中！



会期：4月20日(土)～6月23日(日)

おかざき世界子ども美術博物館

名古屋造形大学の教員と学生によるユニット、「スイッチ」。今回は、スイッチが手がけた5つのデジタルアート作品が楽しめる参加型の展覧会です。

展示室の壁に映された映像にタッチすると花火が上がったり、自分の影を落とし込んで映像に入り込んだり、歩くと床から映像が出たり…。まるで魔法の世界に入り込んだような気分で、驚きと発見に満ち溢れた空間を思いっきりお楽しみください。

また、神戸ポートタワー展望7階Brilliance Museumのリニューアル(依頼元：株式会社フェリシモ様)も手がけました。これらは産学連携プロジェクトとして取組、開発したものです。

神戸へ、ポートタワーへお越しの際は、是非お立ち寄りください。

春のイベント ハロキャン、大盛況でした！

○掲載元＝フライヤーより

○分類＝学生会主催イベント



5/19



ハロキャンを5月19日（日）に開催し、生憎のお天気でしたが、900名以上の方にお越しいただきました。キッチンカー、展示、物販、ワークショップ、スタンプラリーなど学生会が主催し、多くの学生が参加する春のイベントとなりました。

映画『ブルーピリオド』に協力しました 映画は8月9日（金）より公開されます

○掲載元＝名古屋造形大学Webサイト

○分類＝ロケーション撮影

Memories-協力記録展-

第1会期；7月4日（土）～8月2日（金）

日・月 閉廊

第2会期：8月3日（土）～25日（日）

月・火 閉廊

時間：13時～18時

会場：メインギャラリー、その他

（閉廊あり、詳細はWebサイトへ）



アートに触れる関連イベント

7月27日（土）13:00-16:00

ワークショップ	内容
1. 風鈴へ絵を描こう	風鈴へ自由に絵を描いてみましょう
2. アップサイクルワークショップ	アクリル板をリサイクルしてキーホルダーを作ります
3. キャンパスツアー	普段は入れないキャンパスの中をご案内します
4. シルクスクリーン体験	自分が描いた絵や写真を、シルクスクリーンにして刷ってみましょう
5. アートナイト（20歳以上対象） （17:00－19:00を想定）	夕方～夜にかけて、アート体験をしてみませんか？ アーティストになった気分で作品を制作しましょう
6. その他	デジタルアート体験、その他 ワークショップを企画しています、楽しみに！

補足）参加費が必要なワークショップもございます。また、一部、事前予約制となります。詳細は6月下旬にWebサイトにて掲載いたします。

ゴトウヒロシ 公開講座

人物画を中心に村山由佳、花村萬月、志水辰夫、鈴木光司、乃南アサ、藤田宣永、石田衣良、中村文則氏など著名作家の作品に挿絵、装丁画を提供。2005年仏での個展をきっかけにElle、Psychologie、WAD等欧州メディアでも活躍。

イラストレーター、アートディレクター



書籍イラストレーション



「草薙剛」主演映画イラストレーション

イラストレーターになる
方法を話します。

Fri.
6/7 16:20

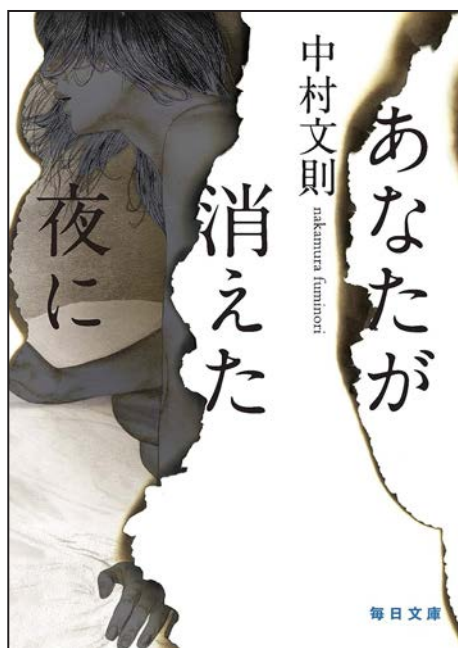
5限より1Fホールにて

Works from Paris 2005 to present

NO ONE SMILES

HIROSHI GOTO EXHIBITION

2024.5.31—6.22 Nagoya Zokei University Gallery



書籍イラストレーション

